

第 29 回議会報告会 報告書

地 域 名	伊佐地域		
年 月 日	令和 8 年 4 月 30 日 (木)	会 場 名	伊佐ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 30 分
参 加 数	男性 6 人	女性 2 人	合計 8 人
班 長	石本 毅	司 会 者	北山 愛
報 告 者	石本 毅	書 記	石本 毅
班 員 名	石本 毅、北山 愛、西垣 司、谷垣 満		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 浅間西川の土砂撤去にあわせて、河床未舗装・未コンクリート部分をコンクリート化できないか。草刈り負担も大きく、大雨時に土砂や草木が流れて危険である。</p> <p>② 八鹿病院で循環器、カテーテル対応が弱くなっているのではないか。夜間に山間部から豊岡病院まで搬送するには時間がかかり、救急体制に不安がある。</p> <p>③ 給食センターの債務負担行為について、民間委託とはせず、災害時協力、地元食材活用、学童クラブや不登校児の居場所としての活用、一部委託など、他の選択肢があるのではないか。</p> <p>④ 給食センター民間委託では、他市で逆にコストが高くなった例や、受託事業者の破綻例もある。もっと予見性のある制度・予算にすべきではないか。</p>	<p>① 国・県の補助や国土強靱化の事業で、土砂撤去や河川対策は進めている。ただし、全ての要望にすぐ対応できるわけではなく、土木事務所が現地確認を行い、緊急度や影響度を見ながら順番に対応している。</p> <p>② 八鹿病院は医師確保が困難な状況にある。遠隔地では豊岡病院まで時間がかかり、雪や夜間搬送の問題もあるため、県に医師派遣や地域医療確保を要望している。都市部と地方部で医師の偏在があり、県にその是正も求めている。</p> <p>③ 人材確保が難しいという市の説明には一定の理があるが、養父市給食センターの民間委託による費用対効果等については明確でない部分もある。様々な選択肢がありうる。</p> <p>④ そのような事例もあると聞いており、慎重な調査が必要である。総務文教常任委員会で、給食センター調理・配送業務の民間委託のあり方について考え方をまとめていく予定である。</p>	

	市 民	対 応
報告に対する質疑	<p>⑤ 但馬全体で、豊岡病院と八鹿病院の役割分担を考えるべきではないか。</p> <p>⑥ 八鹿病院には内視鏡や画像診断などの強みがある。検診・人間ドックを強化し、重症化予防に力を入れてはどうか。病院関係者が地域に出て話す機会も必要ではないか。</p>	<p>⑤ その必要性は高まっている。三次救急や周産期医療は豊岡病院、回復期リハビリや検査機能は八鹿病院というように、機能分担を考える時期に来ている。ただし、病院ごとの歴史や仕組みがあり、簡単ではない。病院側の方針を踏まえ、市民への丁寧な説明をしながら進める必要がある。</p> <p>⑥ 八鹿病院の強みを活かす視点は重要である。かつては医師や病院関係者が地域に出て懇談する機会もあり、医師側にも意味があった。コロナ禍で途絶えており、病院の現状も厳しいが、住民との対話の必要性は認識されている。</p>
意見交換会での質疑	<p>① 医師確保が一番の課題。病院の方針を待つだけでなく、議会ももっと積極的に動けないか。胃カメラなど検診体制も整えるべきではないか。</p> <p>② 市や議会への意見提出フォームは、自分の控えが残らず、添付ファイルも送りにくい。メールアドレスで直接送れる形にしてほしい。システムを業者任せにしすぎではないか。</p> <p>③ 地区の建物の建て替えについて、物価高騰や資材高騰で予算超過や追加費用が出るのではないか。</p>	<p>① 医師確保については、議会としても県や国に意見書を出したり、県庁に直接要望に行ったりしている。県養成医師の派遣先から八鹿病院が外れたことは痛手であり、再び医師を確保できるよう働きかけている。看護学校への補助や診療報酬改定についても要望している。</p> <p>② 当局に確認する。</p> <p>③ 物価、人件費、資材調達の不確定要素が大きく、工事費が上がる事例は確かにある。当初予算内で収めるのが原則だが、不可抗力による増額が必要になる場合もある。大きな変更は議決事項になる場合がある。</p>

市 民		対 応
その他 (提言など)	① 議会報告会に参加しやすくするため、リモートでも実施してほしい。	① 子育て世代とのオンライン懇談会など、すでに一部で試みている。市のタウンミーティングでもオンライン視聴の利点を確認されており、今後、議会改革関係の会議や議会報告会班長会議などで検討していきたい。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和8年5月15日

報告者 2班 班長 石本 毅